

特別  
凡 2  
3088  
3





門 凡 2  
號 3088  
卷 3

海外異聞卷之三

地形

垂墨利加と五大洲の一として日本の正東にありて我  
奥列の東邊より彼方の西辺に亘る島道凡之五里  
地形南北に長く南に墨瓦利泥加の海峡あり極  
北に五十四度二十分の西より北に數萬の道門北極生  
地六十度分の西より北に約三千餘里南  
巴那瑪しよる不幅十五里の地を界し  
いれり墨是可亞墨利加と云

即北垂墨  
南と云



早稻田大學  
昭和25.6.28  
購 券



露亞墨利加と云ふ即ちも亞墨利加なり墨是可ハ即ち也云ふ  
又初太師が使ふる南を以て墨リカト云  
ふ也云々云々 東西ありて一廣狭ありて一  
も廣小ありて一二十百里ありて一も  
天下之の一小南も地亞墨利加なり云々  
加拿太と云ふ二を比兒及泥亞と云ふ三と花地也  
といふ四と新墨是可といふ五と墨是可といふ南亞墨  
利加と云ふ七つありて一六の糸刺赤兒麻と云ふ六  
と六智里と云ふ四の糸刺墨尾臘泥加と云ふ五ハ銀河と云ふ六  
伯刺西兒と云ふ七八亞瑪作搦と云ふ一と百  
里の地小  
各大小の屋園ありて一と一と山大川湖水等あり

多く気候なり不回なり墨是可の湾より東加利別  
私の海中より古巴牙賣加小伊西把你亞等の諸大島を  
抱抱多の島ありて一亞墨利加の大川と聖多刺五冷私  
と云ふも亞墨利加の大川と亞瑪瑣銀河と云ふ角利拜  
尔甚ハ新墨是可の西浜より東に海の介より一と云  
地より東の角日湾と抜哈角利拜尔甚といふ西の角  
外浜を過立答角利拜尔甚といふ 抜哈角内と云ふ南に岬  
散律起といふも峯より一と云ふの林麓より角の教津加といふ  
地即ち初を布たりて一と云ふて舟より一と云ふ換らきたる一と云ふ  
新宇小嶽と云ふ一と云ふ我より一と云ふ角利拜尔甚の地と云



気候は冬は多雪なり川は西の合流海峽に記すの気  
 候は不同なり且細き舟が往く所は同じ  
 ぐん群は是は貨物より下りて地内湾と外湾  
 とを繋ぐ候と云ふす白と知ら蓋し内湾は  
 衆峯圍立し一且地皆多の東も西も  
 舟候暖熱なり外湾は西も大海を交する  
 所は背くが所は冬は多雪なり又  
 秋半小嶽の角利は冬と云く一大嶽  
 なり舊岡又あり近東秋刻の備も  
 皆連接し一と云ふ是れ和布の作すなり又

海三ノ二

名ありありと云ふは似たり是れ北に云く是れ觀圖の  
 形態も云うざるもは知なり

氣候

亞墨利加は地形も山は多し多し多しなり一列乃  
 内ありて氣候も熱帯の邊にあり花地新墨是可  
 墨是可限河等の地は冷暖順和なり去地も又  
 紀元北亞墨利加乃加拿太等の地はを威ふるを  
 たり氣候初よりあるまじく雪ありて海ありて亞墨利加  
 の智里の地も雪ありて河水ありて氷り人畜花  
 して久まを修ねるを屍齋殿と云ふ人出たり

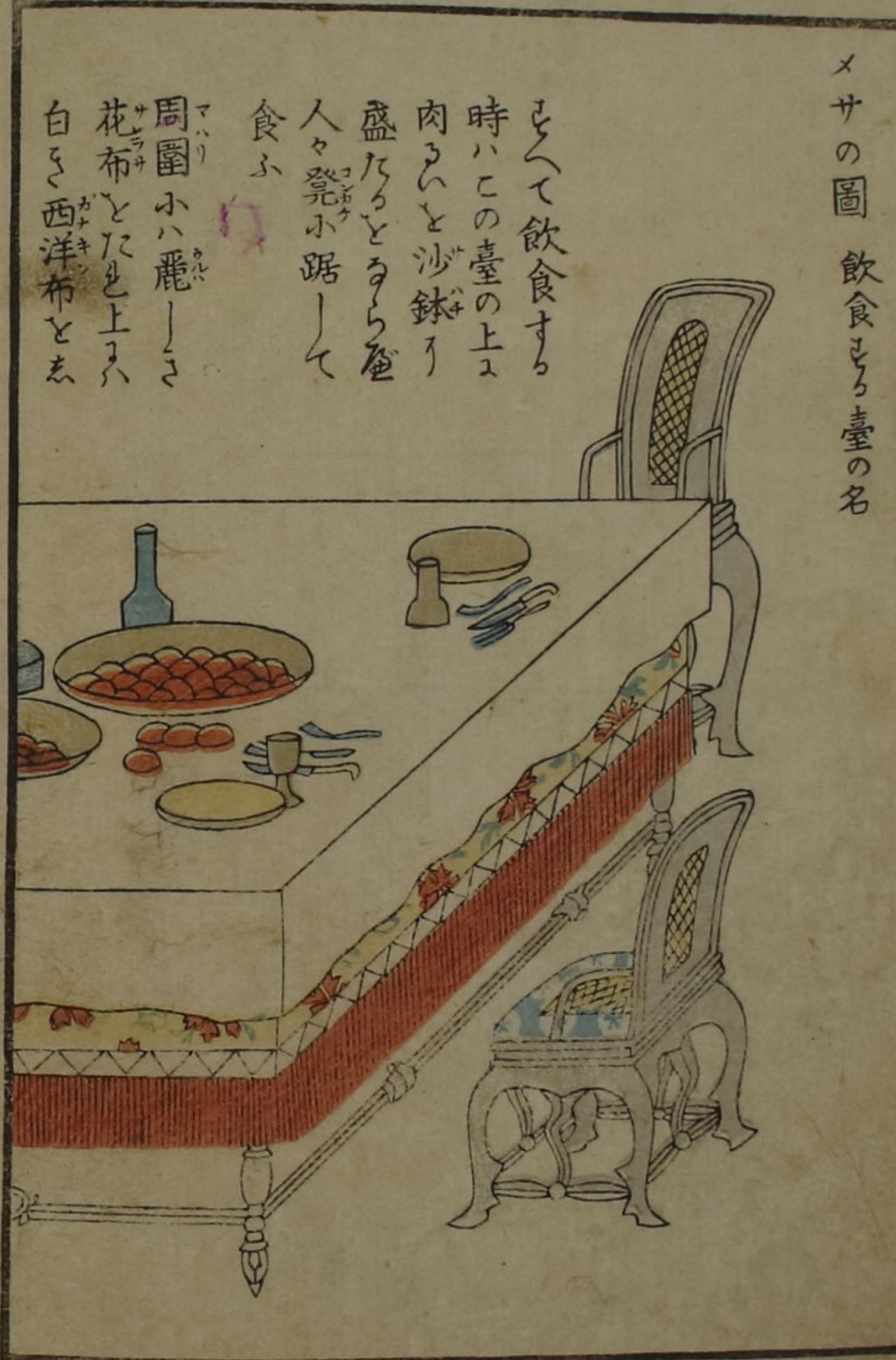


をききし物胃せむ血肉凍硬りて骨の如く一は時を  
ゆり八割解く肉裂骨折りて截かきしなる所  
俄く之を聖是可の屬小宇加堂の地も亞墨利加乃  
的刺在兒麻亞瑪鎖伯刺西兒等ハ皆極熱ありて  
ちと知ん事是可の屬小尼葛刺屈伐の地ハ夏ハ冬  
熱ありて燬びてくそハ五をみして岩海事連日先  
南亞墨利加の事是可の地ハ赤瓦瓦非ることをうては  
平竹曠野海濱砂磧の地ハ冬熱ありて夏寒あり  
俗と稱くそ山岳深谷の地ハ冬冷の事ありし多  
中うて按垣私とちる山ハ世界高山の二一とてハの地

言後ハ聖是可の屬國荅薄私裸の地ハ冬  
多多くして燬壞ありし多ハカケ月ハ且て  
晴ハ及亞杏刺耶刺ハ七八月の以面多し一雷  
電ハ多し起り且地震多し一屋宇と燬多  
りあり回屬小宇加堂及亞得未列の地ハ聖是  
可と巴那瑪との地ハ冬多し山岳多し  
ありありし一むがく春假吹ありし初太師堂  
一南利弗尔聶の地ハ冬多し一夏中  
熱あり毎日已刻比より午後一風吹あり  
て暑氣と稱し

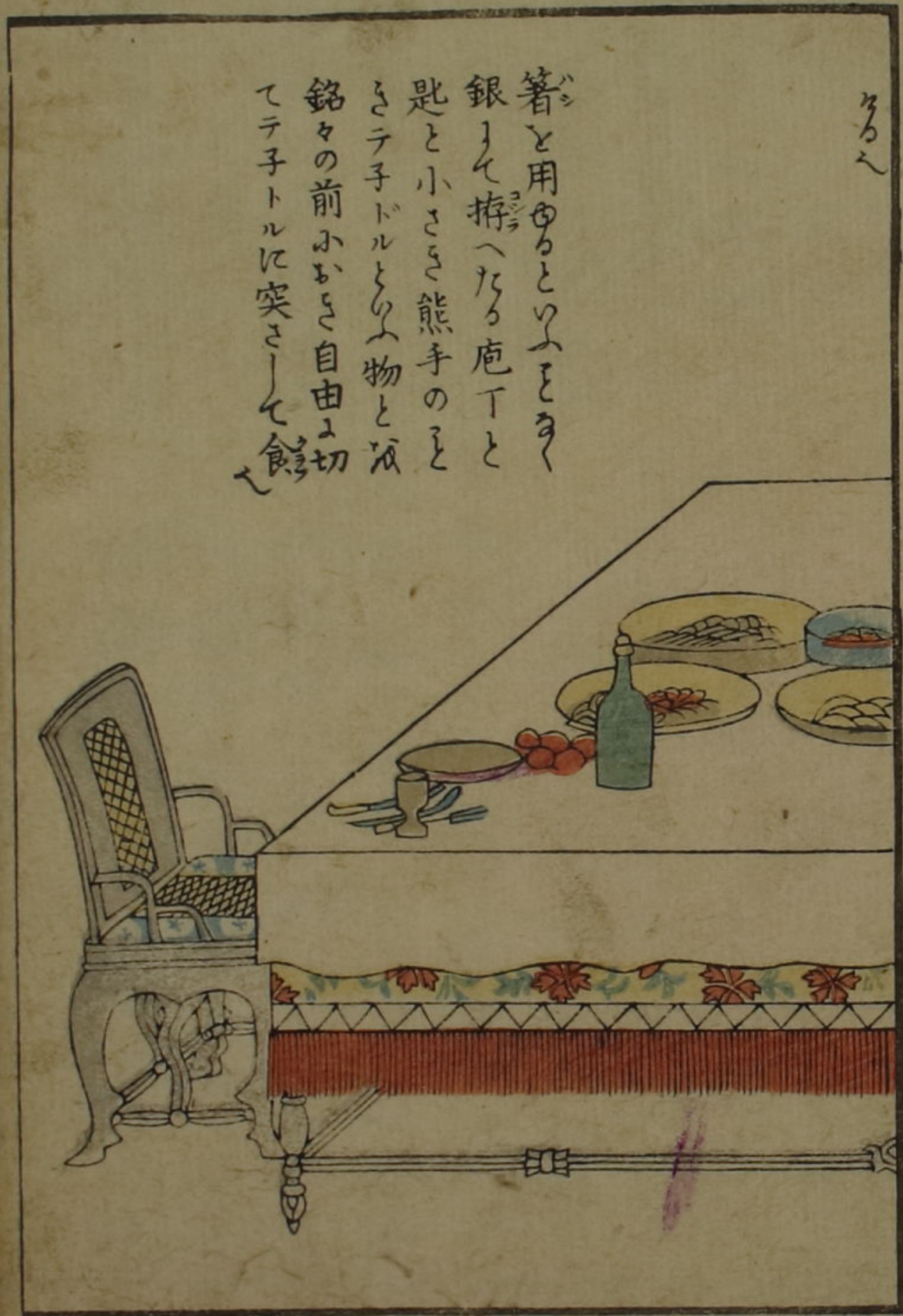


メサの圖 飲食する臺の名



とく飲食する  
 時ハこの臺の上  
 肉と沙鉢  
 盛たりとらるる  
 人々登小踞して  
 食ふ  
 周圍ハ麗し  
 花布とたの上  
 白く西洋布と志

タリ



箸と用ゆるとのよとま  
 銀と拵へたる庖丁と  
 匙と小とと熊手のと  
 とテ子トルと物と  
 銘々の前ふと自由と切  
 てテ子トルに突さして食



人物

亞墨利加の人おも種類一々大極別て  
とらら其一の歐羅巴に諸列伊西把係亞佛即察  
意大利亞諸厄利亞和蘭陀等の人もありて  
巴人と交りて産たる者なりとも云と厄尼爾松と云  
も先亞細亞亞弗利加の諸島より來て住居する  
ものなりとも云依佛見理といふ是は從來の去人  
してふ世野蘇暴なるものなりとも云徳儀の衣  
業とて屋舎の制もかく男女上下の長別く行

海三ノ四

禽獸より異なりて初を帝の澤道より南  
東其ありの人のおも種類を西洋人の通かん  
かゝらぬ日本人よりかゝるるなり  
温等の地の人は皆長衣なりて其丈夫骨の身體  
なり積半一丈一尺一釐なり食を以て酒穀中  
竹獸皮と衣と常し弓矢と集くも空を  
く水と酒と亞瑪作橋の道辺古陸耶音  
の地はも人衣短小なり又初を帝が  
一種の人おも過へ節しつら諸はも脚の復



と同きまゝにして踵長く後よりゆく前此趾と  
くそ屨の形丁の字と何れなるがどし身記  
夫ありて夫短く極く既之塔籠り是多  
加利襪那南亞墨利加テラニルノ不屬伯利西見亞瑪作  
搦川を巴太温等の去人と同く好んで人肉と  
とせしむ墨是可字露等の去人は男女  
よりちやくし一々都雅うれを海流の海流と  
とふりし遠く中央山谷のわびし修る去人の  
おしく醜悪ふし一々鄙陋なり性々裸絳文の  
ものりしと和を帝がらししとくあひをる

漂流人のおぼしく彼等がたがされたる北亞墨利加  
の国新私通の都の領分乃地男女も歎息を  
衣肢より子より自らか便衣も交々顔  
は流る面ちらく玉の如く藤しきしとら  
言結  
亞墨利加の云流六種あり墨是可も用ゆると墨  
是可結しし字露ししとやれと字露は  
しし伯利西見ししとやれと打鬚韻些流  
しし加利奇印ししとやれと加思奇  
些流しし以との字流しととらししと





卧床の圖

下小をさたるハ厚き蒲團あり  
拵へやう服飾の部ニ詳なり

枕ハ花布ササカ少て括り枕のこく拵へ兩方の小口フの  
りろくの花乃形と結して作り飾り木綿の  
丸ササカ鞆とせニツくひめて枕とす鞆ハ汚されバ  
時々ササカに抜くて洗ふるなり







耳 <small>ミ</small>	鼻 <small>ハナ</small>	頭 <small>カシラ</small>	聾 <small>ワカ</small>	疾 <small>ヤヒ</small>	破 <small>ヤク</small>	病 <small>ビヨウ</small>	美人 <small>ビヨウジン</small>	船 <small>フネ</small>	銃 <small>テウ</small>
カヘリ	ナレイン	カヘリ	ソルト	トント	シホ	イラヒマ	ホニモリ	ヒト	ソルグ
ヲレハシ	ナレイン	カヘリ	盗 <small>ヌス</small>	聰明 <small>カシコイ</small>	長大 <small>オホキタ</small>	懶 <small>マカモ</small>	小生 <small>コナマシ</small>	水手 <small>カミ</small>	工 <small>ク</small>
カヘイヨ	ボカ	カヘイヨ	賊 <small>ヒト</small>	カサボイ	フロト	人 <small>ヒト</small>	フロホ	マリチル	カヘシ
カヲ	ボカ	カヘイヨ	盗 <small>ヌス</small>	カサボイ	フロト	人 <small>ヒト</small>	フロホ	マリチル	カヘシ
顔 <small>カホ</small>	口 <small>クチ</small>	髮 <small>カミ</small>	身 <small>ミ</small>	體 <small>タイ</small>	盜 <small>ヌス</small>	賊 <small>ヒト</small>	聰明 <small>カシコイ</small>	長大 <small>オホキタ</small>	懶 <small>マカモ</small>
カヲ	ボカ	カヘイヨ	カサボイ	フロト	フロホ	フロホ	フロホ	フロホ	フロホ
鬚 <small>ヒゲ</small>	舌 <small>シタ</small>	眉 <small>マユ</small>	女 <small>メ</small>	姦 <small>カニ</small>	夫 <small>ウツ</small>	義 <small>ギ</small>	兄 <small>ケイ</small>	弟 <small>テイ</small>	義 <small>ギ</small>
スエハシ	レンダワ	スエハシ	アカコエテ	アカコエテ	アカコエテ	アカコエテ	アカコエテ	アカコエテ	アカコエテ
バルバ	レンダワ	スエハシ	アカコエテ	アカコエテ	アカコエテ	アカコエテ	アカコエテ	アカコエテ	アカコエテ
鬚 <small>ヒゲ</small>	舌 <small>シタ</small>	眉 <small>マユ</small>	女 <small>メ</small>	姦 <small>カニ</small>	夫 <small>ウツ</small>	義 <small>ギ</small>	兄 <small>ケイ</small>	弟 <small>テイ</small>	義 <small>ギ</small>
レイラン	レンダワ	スエハシ	アカコエテ	アカコエテ	アカコエテ	アカコエテ	アカコエテ	アカコエテ	アカコエテ
フルタル	レンダワ	スエハシ	アカコエテ	アカコエテ	アカコエテ	アカコエテ	アカコエテ	アカコエテ	アカコエテ
剃 <small>ヒゲ</small>	齒 <small>ハダ</small>	眼 <small>メ</small>	朋友 <small>トモ</small>	瘦 <small>ヤセ</small>	人 <small>ヒト</small>	貧 <small>ヒナシ</small>	人 <small>ヒト</small>	老 <small>オシ</small>	人 <small>ヒト</small>
フボシ	レイラン	フボシ	コンハン	フラコ	ホフレ	ゴヲ	ヒエホ	ヒエホ	ヒエホ
フルタル	レイラン	フボシ	コンハン	フラコ	ホフレ	ゴヲ	ヒエホ	ヒエホ	ヒエホ

婢 <small>ヒメ</small>	男 <small>オトコ</small>	兄 <small>ケイ</small>	國 <small>クニ</small>	王 <small>オウ</small>	山 <small>ヤマ</small>	中 <small>ナカ</small>	島 <small>シマ</small>	地 <small>チ</small>	前 <small>マエ</small>
コシ子ル	ヲシホレ	エリマノシ	エリマノシ	エリマノシ	ランチウ	クヲリタ	イジラ	ラヲ	アチノチ
官 <small>クワン</small>	女 <small>メ</small>	相 <small>サウ</small>	父 <small>フ</small>	倫 <small>リン</small>	塵 <small>チン</small>	潮 <small>ウシホ</small>	畧 <small>リョク</small>	山 <small>ヤマ</small>	地 <small>チ</small>
カヒシ	モヘリ	セシヨトル	ババ	ババ	マル	マル	ホエビロ	ミンラ	アエル
人 <small>ヒト</small>	見 <small>ミ</small>	夫 <small>ウツ</small>	母 <small>ハハ</small>	火 <small>ヒ</small>	街 <small>マチ</small>	衢 <small>ウチ</small>	川 <small>カハ</small>	前 <small>マエ</small>	日 <small>ヒ</small>
ヘレフ	セシヨウ	セシヨウ	マ	ルシベリ	アイエ	アイエ	ロウヨ	アシラア	ア
宰 <small>サイ</small>	我 <small>ワ</small>	少 <small>シウ</small>	兄 <small>ケイ</small>	水 <small>スイ</small>	石 <small>シ</small>	濱 <small>ハマ</small>	水 <small>スイ</small>	石 <small>シ</small>	濱 <small>ハマ</small>
コ子ル	イホ	セシヨウ	アチノチ	アロウ	ヘテラ	アロウ	アロウ	ヘテラ	アロウ

海三ノ七







白糖 シヨカラ	香烟 アセイテエ フコ	油 ヒギレ	醋 テエ	茶 パン	蒸餅 テエ	可恨 ホシレイト	燒毀 ルハリ ヒノ	細軟 ヒノ	名做 ノンボ ノモセヤマ
冰糖 シヨカラ	鹽 サル	煙草 タバコ	脂 マニテカ	水 アゴワ	酒 ビノ	朋心 クイダル	熱的 カリエニ トヨウ	言語 フダラル	飲食 ノンボ ノモセヤマ
香氣 ホイノ修	肉脯 カレ子	吃煙 タバコ	羊酪 マニテキイ	熱湯 カリエニテ	燒酒 ワシキエニ	破壞 ロニビレ	同的 ロニレヒ	足下 ハシクツ	幾日 クワニト
臭氣 マロ修	黑糖 ハノチャ	紙卷 レカル	酥 ケリ	玉黍 セシベ	米 アロス	毀壞 ケビロン	失了 スズル	幾日 クワニト	幾日 クワニト

幾何 シロントフ	真價 エレテホイ	小醜 ホキト	醜鬼 フエコ	美始 フデミコ	勿言 アエホカ	應辭 マスラン	不要 ノケエリ	少時 モトテ	拌懇 レコシタル
有幾 シロントフ	低價 エレテ	細小 チキト	多好 ムテウ	速好 ホイノ	罵辭 マシテホ	知否 サベ	乞物 シヤク	那里 ヨシバモス	告別 アリヨス
可愛 ホ	高價 カホ	有少 ヒアイ	惡少 レウレヒ	近惡 マロウ	甚罵 セリカ	不知 ノサベン	與物 トマ	今將 イホシイ	請慢 イシヤラ
可憎 アレシテ	賤價 バフト	無大 ノアイ	奸大 ガレテ	強奸 ホニト	尊稱 フラリテ	虛語 ノシライラ	呼辭 ノカン	當重 アリス	請火 ルニシ

九ノ九



三播大船 フラガタ	銀鉢 プラタ	小刀 タサ	角牌 ロリタマ	鑰匙 ハラハ	板 ヤミ	搦 タフラ	針 セイヤア	樂器 マクハア	樂器 ムシカ
舟 シウ	大銀錢 ヘセタ	蠟燭 テ子トル	小把 コカク	囊 ホリサ	剪刀 テハラ	薪 レンニヤ	枕 アルマタ	篋 カホン	四絃樂器 ヒタラ
雙播船 ベリカニテ	小銀錢 メリウ	燭臺 カンテ	匙 コチヤラ	扇斗 ヒシチ	擲 ヘイチ	烟管 ビイバア	麻索 メカテ	卓子 メサ	剃刀 ナバハア
雙播小船 ゴレタ	金水盤 ハメ	水盤 ハメ	場 ホテイヤ	紙 ハペリ	鎖 カンタ	石 ハボン	睡床 ハマ	庖丁 カマ	庖丁 コテリ
草播小船 シラ									

鏡 サロナヨ	劍 サビレ	黒色 子グロ	麻線 リテロ	絹帛 セク	袴 フチヨシ	禪 バンタコン	素服 チヤケタ	衣服 ロツハ
行李 カルカ	銃 イシコダ	白色 アウ	木綿線 アルコト	麻布 アサ	毛布草被 アサタ	履 サバト	額簷 カチナ	衣帛 フロハ
書籍 リヒロ	火礮 カヨシ	黄色 アマリ	裁縫 コセル	木綿布 アルミ	又サラツベイモ	鈎鈕 ホト	周簷帽 シヨ	襦 カミ
帚 オマ	斧 アチヨ	赤色 ヨソ	線 セメ	絨 ワナ	手巾 ハンコ	襯 カ	襯 セ	背 ナヤレ

海二ノ十



一	蘇木 小葉似枇杷 而長味甘	南瓜 ボウフラ	玉黍 キビ	魚 ウナギ	雌雞 トビ
ソウノ	ブライトル	カラバサ	マイス	ベシカウ	ガイナ
二	數 スウ	西瓜 スイカ	蒲萄 ブドウ	蛆 ウジ	蝦 エビ
トウシ	ウモチ	サンデヤ	イバ	クサノ	カマロシ
三	霸王樹 シロバナ	甜瓜 メロン	甘蔗 カンヤ	蜂 ハチ	海鱈 サケ
テレイシ	ビタヤ	メロン	カンヤ	ヨエホ	バイナ
四	芭蕉實 バナナ	荻蘆竹 カサネ	蕃薯 カモメ	蟻 アリ	蛇 ヘビ
クワトロ	カモメ	カモメ	カモメ	オリイ	クレビラ

席 カシ	羊 ヒツ	牛 ウシ	馬 ウマ	樓 タカ	家 イ	舟 フネ	錨 イカリ	舟 フネ
アリデーヤ 小鯉似虎	チボ	バカ	カワヨ	タツバンコ	カサ	ハテエラ	アニコウ	オハリヨ
四足 ヨツアシ	鹿 カ	豚 ブタ	長耳馬 マナウ	動物 カウ	内 ウチ	居室 キョウ	飯鐘 イハ	大船 オオネ
クワトロバタ	バナト	コチ	マナウ	ヨムレ	アバホウ	アニコウ	ウシチヤ	ウシチヤ
獸乳 ケモノノチ	貓 ネコ	綿羊 ウニ	驢 ウシギムマ	戲場 ウチ	中間 ナカマ	乘船 オモネ	帆 セイル	脚船 オモネ
レナ	ガト	ボン	ボラ	コメリヤ	セントロ	アポルト	ベラ	ボテ
雄雞 オウチドリ	山猫 ヤマネコ	粗毛綿羊 ウニ	駱駝 ラクダ	井 イ		帆 セイル	帆 セイル	船 フネ
カヨ	モレヤ	ウニ	ラクダ			セパン	バロ	リモン

海三ノ士















いろ、餅、寒、熱、一、く、能、焼、く、肉、は、取、出、し、一、片  
 の、卵、板、に、載、せ、ら、れ、と、入、熱、く、焼、く、是、は、菓、子、に、似、た  
 物、と、て、時、々、製、さ、る、ら、う、と、い、ふ、パン、と、い、ふ、物、を、焼、く  
 板、牛、の、頭、と、焼、く、ら、う、と、い、ふ、此、電、一、入、口、を、寒、て、一、夜、を  
 羽、目、出、し、く、食、に、南、瓜、と、焼、く、う、す、ら、う、と、い、ふ、何、ら  
 い、づ、ま、い、此、電、一、を、焼、か、ま、あ、つ、ら、う、と、い、ふ、味、は、  
 上、好、し、  
 南、瓜、番、薯、等、を、焼、く、煮、湯、一、砂、糖、と、煉、あ、ら、せ、て  
 食、料、と、す、ら、う、と、い、ふ、あり  
 玉、黍、の、粉、に、砂、糖、を、合、せ、煮、く、煮、飯、の、如、く、焼、く、ら

其、の、あ、り、トル、テ、ヤ、と、い、ふ、是、は、た、り、食、さ、る、方、り  
 マ、ニ、テ、子、イ、と、い、ふ、の、乳、と、油、と、和、し、て、糖、を、加、え、  
 又、を、パン、に、付、く、食、テ、ウ、と、い、ふ、牛、の、乳、と、油、と、  
 塩、は、加、り、と、い、ふ、た、ら、あ、ら、う、別、々、物、に、つ、け、て、食、さ、ら、う  
 又、は、白、い、あ、ら、う、と、い、ふ、と、あ、ら、う、日、本、人、は、食、さ、る、能、う、  
 然、し、ど、う、も、獸、の、肉、と、食、さ、る、と、す、る、た、魚、類、は、さ、う、と、煮、  
 焼、せ、ん、と、い、ふ、た、他、で、食、せ、ざ、ら、う、と、い、ふ、は、あ、ら、う、は、時、と、病、  
 り、の、時、は、あ、り、な、る、の、為、に、病、を、治、す、に、高、温、を、食、に  
 ロ、ホ、ロ、と、い、ひ、て、カ、ラ、ク、シ、の、肉、は、別、々、と、煮、焼、さ、ら、う、と、い、  
 下、と、い、ふ、は、寒、熱、一、を、食、さ、る、ら、う、と、い、ふ、







有り富家よりい地と一面の席の皮など紙張を  
 とと履とこれたうへに佳束するありあり一宮下りたる  
 ありとも後表の如き細序後横之口より佳目  
 たりと相と名をうへと履して歩ゆ所一たびきき  
 たりとぬかぬか松子あり石内にもまきこし撮と後表  
 肉も客人より皆獨りうけく居る縁もは納涼表の  
 しく接く口隅に枝とたてて蚊帳とつり座をいせ  
 り一皮紙一枚一とまきこし木抄うへに梅もろをさ  
 膚まきと表まきこしと足袋を布とまて座の足乃  
 ありまきと密く飾りたるこしと白き布飾乃単膚を

海三ノ

沈澀するあり冬いと下り羊毛こそ織るる家の  
 膚まきと表まきこしと足袋を布とまて座の足乃  
 一幃を密く志所産人別と一づ有る客人乃  
 とちとづと密く志所産人別と一づ有る客人乃  
 風とて表のみ時と石火矢此言をあす時外より  
 来り飛人いづ箱の用子有とともあり片付て  
 表膚とまきこしと口隅に又石火矢の言をれは門  
 戸はとちとづと密く志所産人別と一づ有る客人乃  
 人の家より止着するこしとちとづと密く志所産人乃



陸奥の河原は好む身よりきまらぬ後かたし  
 ものはいく唯障の壁へ出入りしとめ多るとえん  
 毛口は暖簾とかく考焼とすも可なり下屋又と別  
 居あり〜〜〜と各権子のやみ相う〜皆獨り  
 煮らんと井戸剛〜〜〜〜〜と〜〜〜〜〜と  
 て暖氣の地るる故浴とらとり〜〜〜〜〜と  
 云つ〜〜〜〜〜と〜〜〜〜〜と  
 物高小倉と呉服屋と羅紗類後連文物本  
 俣〜〜〜〜〜と〜〜〜〜〜と〜〜〜〜〜と  
 硝子の燭と多並〜〜〜〜〜と〜〜〜〜〜と  
 痛葡萄酒アラキ焼酒甘蔗酒乃

類と賣肉取と賣又いバンと賣店松多々新店を  
 元高〜〜〜い山を〜〜〜路〜〜〜死来〜〜〜し肉  
 堂菜の取〜〜〜日本の一〜〜〜歩〜〜〜賣らるる  
 平生は〜〜〜及〜〜〜客来有て〜〜〜張〜〜〜相〜〜〜松多々を  
 い〜〜〜あ〜〜〜メサと〜〜〜小甚の〜〜〜と〜〜〜と〜〜〜と〜〜〜と  
 洗〜〜〜と〜〜〜進〜〜〜又〜〜〜花〜〜〜の〜〜〜と〜〜〜と〜〜〜と  
 火〜〜〜或〜〜〜い〜〜〜毎〜〜〜一〜〜〜焼〜〜〜籠〜〜〜と〜〜〜と〜〜〜と〜〜〜と  
 サ〜〜〜と〜〜〜あ〜〜〜くの〜〜〜と〜〜〜り〜〜〜船〜〜〜の〜〜〜取〜〜〜い〜〜〜と〜〜〜と〜〜〜と  
 一〜〜〜切〜〜〜の〜〜〜た〜〜〜を〜〜〜も〜〜〜か〜〜〜よ〜〜〜取〜〜〜る〜〜〜家〜〜〜の〜〜〜内〜〜〜に〜〜〜押〜〜〜入〜〜〜お〜〜〜け〜〜〜た〜〜〜が〜〜〜し  
 衣袋とカホシ〜〜〜と〜〜〜り〜〜〜皮〜〜〜張〜〜〜の〜〜〜櫃〜〜〜の〜〜〜板〜〜〜と〜〜〜ら〜〜〜お〜〜〜よ〜〜〜入〜〜〜と〜〜〜



書物ハ棚ト指之トテ撰ル  
テ送ルゲキナリ



海外異聞卷之三終

海三十九



